

第3学年 道徳学習指導案

日 時 平成24年11月14日(水) 5校時

児 童 男子4名 女子8名 計12名

指導者 早野 聡

1 主題名 かがやくじぶんになろう <内容項目 1—(2) 勤勉・努力, 忍耐>

資料名 すきなことから (出典 学習研究社「みんなのどうとく 3年」)

2 主題設定の理由

(1) 価値について

学習指導要領の道徳の内容、第3学年及び4学年の1「主として自分自身に関すること」の(2)に、「自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。」と示されている。

自分でやろうと決めたことをがんばってやり遂げたとき、充実感や喜びを感じることができ、これからの活動意欲を引き起こすことになる。自分が好きで、やろうと決めたことであれば、なおさらである。

中学年の児童は、生活の場の中で、自分がやらなければならないことについて理解し、目標を立ててがんばろうとする意識もあり、それに対して進んで取り込もうとするが、困難に直面すると、努力が続かず、途中でくじけてしまうことが多い。そこで、自分の目標達成のために、困難にぶつかってもあきらめず、努力を続けていくことが、自分のよりよい生き方につながることに気付かせ、生活の中で困難を乗り越えようと努力しようとする意識を持たせることが大切であると考え、本主題を設定した。

(2) 児童について

子ども達は、明るく素直で、行事や学年の活動の中でも自分の目標をもって取り組んでいる。9月の校内マラソン大会では、当日だけではなく、練習でも、走る目標を決めて取り組むことができた。10月の学習発表会の劇の発表でも自分でやりたい役を選び、真面目に練習に取り組んだ。このように関心のあることに意欲的に取り組んでいるが、ちょっと苦手なことを避けようとしたり、失敗するとすぐにあきらめたりしてしまう子も多い。

そこで、まず、自分が好きでやってみたいと思ったことを困難を乗り越えてやり遂げたとき、大きな喜びを得ることができるということを感じ取らせていきたい。

(3) 資料について

本資料は、2000年のシドニーオリンピックで金メダルととった高橋尚子選手の話である。スタジアムに1位で入ってきたが、ゴール直前に2位のシモン選手に追い上げられる。足が重く思うように体が動かないという状態の中で、高橋選手は、靴が脱げたり、つまずいて転んだりして、びりになりながらも決してあきらめず、一生懸命走ってトップでゴールした小学校のマラソン大会のことを思い出す。追い上げられながらも「だいじょうぶ。絶対にだいじょうぶ。」と言い聞かせ、十分に練習してきた自信と何よりも走ることが好きという気持ちでゴールするという内容である。

目標をもって、それを達成させるためにあきらめず最後まで頑張ることが、喜びや自身につながるということを感じ取らせることのできる資料である。

(4) 指導にあたって

「導入」の段階では、資料として校内マラソン大会の写真を提示し、自分たちが目標をもって取り組んだこと、転倒や腹痛の困難を乗り越えて走りぬいたことなどを想起させた後、高橋選手の写真を提示し、本時でねらいとする価値についての見通しをもたせていく。

「展開後段」では、事前にとっておいた「自分のがんばり」のアンケートをもとに、自分が好きなことで頑張りぬいたことを道徳ノートに書かせ、交流させることにより実践に向けての意欲付けを図る。

(5) 他の教育活動との関連

〈道徳の時間・他の教育活動〉

〈子どもの意識〉

| | 〈道徳の時間・他の教育活動〉 | 〈子どもの意識〉 |
|----|--|---|
| 事前 | <p>◎行事「校内マラソン」 (9/26) 自分の立てた目標をめざして、練習に取り組む。</p> <p>○行事「学習発表会」 自分で決めた劇の役の練習に最後まで精一杯取り組む。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・自分が立てた目標に少しでも近づこう。 ・自分がやってみようと思った役に精一杯取り組み、みんなの劇を成功させよう。 |
| 本時 | <p>道徳の時間 (11/14) 主題名 かがやく自分になろう 資料名 すきなことから ねらい 自分が好きでやろうと決めたことは、困難なことがあったとしても粘り強く最後までやり遂げようとする心情を育てる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・自分が好きでやろうと決めたことは、途中で投げ出さず、最後までやり遂げよう。 |
| 事後 | <p>◎学活「新しい係の仕事」 (11月) 自分でやろうと決めた係活動の仕事の内容と計画を考え、最後までやり遂げようとする気持ちをもつ。</p> <p>○児童会行事「長縄集会」 (1月) 班で決めた目標回数に到達できるように、友だちと励まし合いながら練習に取り組む。</p> <p>◎行事「スキー教室」 (2/13) 校内での練習をもとにスキー教室での目標を立て、その目標を達成しようと努力する。</p> <p>○児童会行事「6年生を送る会」 (2/27) お世話になった6年生に感謝の気持ちを表すためにどのようなことをしていけばよいか考え</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・自分でやりたいと思い、選んだ係の仕事だから最後までやり遂げよう。 ・自分たちで決めた目標回数を達成できるように班の友だちを励ましながら練習に取り組もう。 ・スキーの学習で滑ることができるようになってきたから、スキー場では一生懸命練習に取り組み、こんな技術を身に付けたい。 ・お世話になった6年生のために、発表やプレゼントづくりの計画を立て、練習や政策に精一杯取り組む |

3 本時の指導

(1) ねらい 自分が好きでやろうと決めたことは、困難なことがあったとしても、粘り強く最後までやり遂げようとする心情を育てる。

(2) 展開の概要

| | 学習活動と主な発問 (◎中心発問) | 期待する児童の反応 | 指導上の留意点・評価 (・留意事項 *評価) |
|-----------------|--|--|---|
| 導入 3分 | 1 写真を見て、校内マラソン大会の体験を想起する。 ・走っているとき、どんなことを考えましたか。 | ・疲れて、途中で歩きたくなかった。 ・応援されたので、頑張ろうと思った。 ・入賞するように頑張って走った。 | ・頑張ろうと思ったことだけではなく、苦しかったことや途中でやめたくなったことについても思い出させ、資料への導入を図る。 |
| 展開 前段 30分 | 2 資料「すきなことから」を読んで、話し合う。 (1) シモン選手が追い上げてきたことを知った高橋選手は、どんな気持ちになったでしょう。 (2) くつが脱げたり転んだりして、びりになった尚子はどんなことを思ったでしょう。 ・自分だったらどうしますか。 ◎ (3) 「だいじょうぶ。ぜったいだいじょうぶ。」と自分に言い聞かせた高橋選手は、どんなことを考えていたでしょう。 | ・いつの間に追いついてきたんだ。 ・大変だ。追いつかれたらどうしよう。 ・絶対に追い越されないぞ。 ・1位でゴールするんだ。 ・負けるなんて絶対いやだ。 ・トップでゴールするんだ。 ・びりだから走るのをやめようかな。 ・けがをしたからあきらめようかな。 ・走っても1位にはなれないな。 ・最後まで走ろう。 ・小学生のときも頑張れたんだから今度も頑張れるはず。 ・体は疲れているけれど、気持ちでは負けないぞ。 ・誰よりも練習してきたんだから負けるはずがない。 | ・高橋選手の写真から真剣に走っていることや走ることに集中していることを感じ取らせたい。 ・資料は教師が範読する。 ・シモン選手の姿が見えなくて安心してた高橋選手が、追い上げられて焦っている気持ちを、文だけではなく、写真からも感じ取らせたい。 ・校内マラソン大会で、転んでしまったりおなかが痛くて苦しかったりしたことなどを想起させ、びりになったらあきらめてしまいそうになる普段の自分たちの気持ちに気付かせる。 ・2度のアクシデントから立ち直り、一生懸命は知った尚子が、ゴールしたときに大きな拍手と歓声が起こった訳についても考えさせたい。 ・校内マラソン大会で友だちに追い越されたり、友達を追い越したりしたときに、何を考えていたか想起させ、高橋選手の頑張ろうという気持ちに気付かせる。 |

| | | | |
|-------------|---|---|--|
| | (4) ゴールした高橋選手は、どんな気持ちで両手をつき上げたでしょう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・何よりも好きなかけっこなんだから負けられない。 ・トップでゴールすることができてよかった。 ・練習を頑張ってきてよかった。 ・あきらめないで、最後まで頑張ってきた。 ・あきらめなければ、思いはかなうんだ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・写真から、高橋選手の喜びを感じ取らせると共に、その根底にあるのは十分な練習とかけっこが好きだという気持ちであることをとらえさせたい。 |
| 展開後段 10分 | 3 今までの自分の生活を振り返り、自分が好きでやろうと決めたことで頑張っていることを思い出す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・試合で負けてばかりで練習がいやになったこともあるが、上手になりたくて頑張っている。 ・今の係は、立候補して決めたものだから、遊びに誘われてもきちんとやっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事前にとった自分が好きで頑張っていることについてのアンケートをもとにしながら本時の振り返りをさせる。 *自分が好きで頑張っている取り組みについて振り返ることができたか。 <p style="text-align: right;">(道徳シート)</p> |
| 終末 2分 | 4 教師の説話を聞く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分が好きでやろうと思って始めたことは、途中であきらめないで頑張っていこう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分が好きでやろうと決めたことは最後まで粘り強くやり遂げようという意識を喚起させる。 |

4 資料分析

(1) ねらい 自分が好きでやろうと決めたことは、困難なことがあったとしても、粘り強く最後までやりとげようとする心情を育てる。

(2) 資料名 「すきなことから」(出典 学習研究社 みんなのどうとく 3年)

| | | | | |
|------------|--|---|---|---|
| 主な場面 | <p>オリンピックのマラソンで、残り200mの地点で、2位のシモン選手が追い上げて、その佐賀100mもなくなった。全身の力をふりしぼっても、足が重くて思うように動かない。</p> | <p>小学校のマラソン大会で、かけ出して間もなく、片方の靴が脱げて見あたらなくなった。やっと靴を見つけて、歯を食いしばって、全力で走ると、今度はつまずいて転んでしまった。けがをしていたが、立ち上がって一生懸命走り、トップでゴールした。</p> | <p>(だいじょうぶ。ぜったいだいじょうぶ。)と自分に言い聞かせ、これまで十分に練習してきた自信と、何よりもかけっこがすきという気持ちで走りぬく。</p> | <p>トップでゴールし、両手をつき上げ、ゆっくりと足を止めた。</p> |
| 登場人物の心の動き | <ul style="list-style-type: none"> ・いつの間に追いついてきたんだ。 ・大変だ。追いつかれたらどうしよう。 ・絶対に追い越されないぞ。 ・1位でゴールするんだ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・びりだから走るのやめようかな。 ・けがまでしたのだからあきらめようかな。 ・走っても1位にはなれないかな。 ・最後まで走ろう。 ・負けるなんて絶対いやだ。 ・急いで走らなくっちゃ。 ・トップでゴールするんだ。 ・この日を楽しみにしていた尚子は力のかぎり、一生懸命走りました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学生のときも頑張れたんだから、今度も頑張れるはず。 ・体は疲れているけれど、気持ちでは負けないぞ。 ・誰よりも練習してきたんだから負けるはずがない。 ・何よりも好きなかけっこなんだから負けられない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・トップでゴールすることができてよかった。 ・練習を頑張ってきてよかった。 ・あきらめなければ、思いはかなうんだ。 |
| 把握すべき状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ふと、電光掲示板を見ると、シモン選手の姿がうつっています。 ・差は100mもありません。 ・全身の力をふりしぼりました。 ・でも、けっしてあきらめませんでした。 | <ul style="list-style-type: none"> ・片方の靴が脱げてしまったのです。 ・びりになった尚子は、歯を食いしばり、全力で走りました。 ・「いたいー。」 ・(大好きなかけっこだもの、走らなくちゃ。負けるなんて、ゆるせない。絶対に勝ってみせる) ・(さあ、走らなくっちゃ。大急ぎで追いつかなくっちゃ) ・尚子は、にっこりほほえみしました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・(だいじょうぶ。絶対にだいじょうぶ。) ・体は疲れていますが、頑張る気持ちはたっぷり残っています。 ・何よりもかけっこが好きだという気持ちで、重い体を、ぐんぐん引っ張っていきます。 ・(あと少し!あのゴールテープまでお願い!) | <ul style="list-style-type: none"> ・両手をつき上げ、ゆっくりと足を止めました。 ・見事に金メダルを手にする事ができたのです。 |
| 学習者の意識の焦点化 | <ul style="list-style-type: none"> ・体力が限界に近く、シモン選手の追い上げに脅威を感じながらも、あきらめない気持ちであることをつかむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・靴が脱げたり、つまずいて転んだりすれば、あきらめようという気持ちが出てくるはずなのに、かけっこで負けたくないという思いで走った尚子の気持ちをつかむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・体は疲れていても、頑張る気持ちがたっぷりあること、かけっこが好きだという気持ちから走り続けている高橋選手の心情をとらえさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・どんなつらいことや苦しいことがあっても走り続け、金メダルを手にする事ができた高橋選手の満足感を感じ取らせる。 |
| 基本発問 | <p>○シモン選手が追い上げてきたことを知った高橋選手は、どんな気持ちになったでしょう。</p> | <p>○くつがぬげたり転んだりして、びりになった尚子はどんなことをおもったでしょう。</p> | <p>◎「だいじょうぶ。ぜったいだいじょうぶ。」と自分に言い聞かせた高橋選手は、どんなことを考えていたでしょう。</p> | <p>○ゴールした高橋選手は、どんな気持ちで両手をつき上げたでしょう。</p> |

高橋選手の写真
・マラソンで走っている姿

高橋 なおこ せん手
オリンピック
女子マラソン
金メダル

すきなことから

高橋選手の写真
・シモン選手が迫ってくる中、頑張って走る姿

場面①

たいへん
足が重くて動かない

歯をくいしばり
全力で走る

靴が脱げた絵

場面②

走るのやめようかな

びり

真ん中
トップ

一生けんめい
走る

転んでも立ち
上がる絵

場面②

走るのやめようかな
ひざ・・・血
手のひら・・・じやり

びり

高橋選手の写真
・ゴールテープを切る姿

場面④

- ・小学生のときも頑張れたんだから
今度も頑張れるはず。
- ・体は疲れているけれど、気持ちでは
負けないぞ。
- ・誰よりも練習してきたんだから負
けるはずがない。
- ・何よりも好きなかっこんだからか
負けない。

好きでやろうと決めたこと —— あきらめない